

おしやっち event

フリーマーケット “おしやマル”開催

8月29日(日) 10:00~14:00

※毎月最終日曜日に開催予定です

おしやっち1階エントランス

掘り出し物、かわいい手作り品が見つかるかも♪
出店者さんも募集中!
8月7日(土)より出店受付開始です!

おしやっち event

カルチャー教室

しっかり動いて、おなかを空かせて、しっかり食べる!これが健康のもと!これからも元気であるための運動教室です。

一緒に運動してみませんか?

8月18日(水) 多目的ホール

【イスに座って楽々全身トレーニング】

10:30~11:30 参加費 1人 500円

【ダイエットに必須!! おすすめの脚トレーニング】

19:00~20:00 参加費 1人 500円

応募締め切り日: 8月15日(日)

応募方法: おしやっち窓口または電話にて申し込み
質問など、お気軽にお問い合わせください♪

こんなことやりたい!リクエストも募集中!

おしやっち event

おしやっちすけっと隊募集

すけっと隊とは、おしやっち館内外で様々なボランティア活動を行うグループです。これまで、末広町周辺の歩け歩け&ゴミ拾い、七夕飾り作り、雪かきなどを行いました。活動を通じて、色々な人と交流する機会としていきます。

次回は…8月29日(日)

みなさんお誘いのうえ、ご参加ください!



おしやっちのご予約はネットから便利!
ご自身で、予約、変更、キャンセルができます。
※初回だけ簡単なアカウント登録が必要です。
<https://www.oshacchi.com/>



おしやっちのイロイロ
日々更新中

フォローお願いします!



おしやっちの公式ラインはじめました

イベント情報や、イベント参加者様へのご案内を
配信します♪追加お願いします!



☎ 大槌町文化交流センター Tel.0193-27-5181

図書館 event

読み聞かせ会

8月21日(土) 11:00~

【場所】3階ミーティングルーム

【協力】大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

休館日のご案内

毎週火曜日・第3木曜日(8/19)

※新型コロナウイルスの影響により、各種イベントが中止になる可能性があります。
図書館のフェイスブックなどでお知らせします。

☎ 図書館 Tel.0193-42-7226



6月16日 「おおつち愛あいネット」の見守り協定を締結

町は新たに「ヘアサロン ALWAYS (オールウェイズ) さとう」と高齢者などの見守りに関する協定を締結しました。

おおつち愛あいネットとは、民間事業者が日常業務の中で見守りを行い、高齢者などの異変を大槌町地域包括支援センターに連絡し、早期に専門機関などによる支援に繋げるためのネットワークです。

今後も、住み慣れた大槌町で安心して安全に暮らせるよう、民間事業者と協力しながら、事業を進めていきます。



愛あいネットのステッカー



6月30日 ゲームで避難所運営学ぶ ~大槌高復興研究会 町役場と共同で~

大槌高校で6月30日(水)、町防災対策課などと共同で避難所運営ゲーム(HUG)が行われ、同校復興研究会の生徒と役場職員ら約30人が参加しました。コロナ禍の避難所で受け入れ側はどう対処すべきなのか、頭を悩ませつつ実践的に防災の学びを深めました。

HUGは静岡県が開発した避難所運営を疑似体験できるカードゲーム。不測の出来事が起きる中、プレイヤーの知恵と機転が試されます。大槌町では社会福祉協議会が取り入れ、地域や学校でゲームの機会を提供してきました。

当日は岩手県沖を震源とする大地震が真夏の午後1時に発生し、隣接する大槌学園に入り切れなかった避難者が大槌高校体育館に流れ込んでくると想定。参加者は6班に分かれ、議論を進めていきました。

「マスコミが取材に入りたと言っている。受け入れますか。こんな出来事が突発すると、生徒の中から「困難な状況を広く報道してもらいたいのが、関係者が感染している恐れもあるので断る」といった意見も出ました。

全体の進行役を務めた大槌町社協の渡辺賢也・総務課主事は「避難所運営に答えはなく、皆さん自身で決めたことが正解。様々な意見が混ざることによって答えも変わってくる」と講評。参加した復興研究会の佐々木真尋さん(18)は「避難者の年齢によって、体育館のどの場所にいてもらうのがいいか考えるのが難しかった」と感想を話しました。



カードを読み込みながら避難者の配置や対応を考える生徒たち

7月15日 みずかみと災害時協定締結 必要物資速やかに調達

当町など県内にスーパー4店舗を展開する株式会社みずかみ(本社・遠野市)と町は7月15日(木)、「災害時における応急生活物資の調達に関する協定」を締結しました。災害時に必要とされる食料や飲料、衣類、日用品などの生活物資について、町災害対策本部が同社に電話や書面で出荷を要請すると、速やかに町防災対策課に納品される仕組みです。町が町内に店舗を構える流通業者と同様の協定を結ぶのは、株式会社マイヤ(本社・大船渡市)に続いて2例目です。

締結式は沢山地区のみずかみ大槌店で行われ、同社の小野田繁・代表取締役社長と平野町長が協定書に調印。平野町長はあいさつで「本協定を契機に大槌町の災害対応力のさらなる向上を目指したい」。小野田社長は「震災では末広町にあった店舗で従業員3人が亡くなった。現在は屋上に避難スペースも設けていて、災害時は町のためにできる限り協力をしたい」と話しました。



7月25日 町内学生らサウジアラビアと交流 東京五輪でつながり

7月25日(日)、町は「サウジアラビア応援 DAY」と題し、東京五輪の復興ありがとうホストタウン相手国であるサウジアラビアの在日留学生や大使館員とオンラインで交流しました。町からは大槌高校と大槌学園の吹奏楽部員が町長とともに参加。サウジのホストタウンである東京都調布市、愛媛県新居浜市を交えて歴史や文化、これまでのつながりについて語り合いました。交流会では、3市町からのサプライズメッセージとしてサウジアラビア国歌斉唱の動画が送られ、同国関係者たちは、「皆さんが国家を練習するのにかけてくれた時間を考えると、気持ちが伝わる」と感激した様子でした。



参加した大槌高校の上田桃菜さん(3年)、澤本愛咲美さん(2年)は、「国家を歌うために意味などを調べたことで、歴史に触れられた気がした。他の事も知ってみたい」と新たなつながりを喜んでいました。

参加した大槌高校の上田桃菜さん(3年)、澤本愛咲美さん(2年)は、「国家を歌うために意味などを調べたことで、歴史に触れられた気がした。他の事も知ってみたい」と新たなつながりを喜んでいました。